

名古屋市観光客・宿泊客動向調査 -概要版-

(平成27年度)

平成28年11月

名古屋市観光文化交流局

注1：本文中で用いたブルーボネット、スカイプロムナードの正式名称は、それぞれ名古屋港 ワ
イルドフラワーガーデンプルーボネット、ミッドランドスクエア スカイプロムナードで
ある。

注2：表、グラフに記してある居住地別などの数値にはその項目の「無回答」が除かれている
ため、その合計と全体の数値が一致しない場合がある。

本書（概要版）および本編については、名古屋市ホームページ（www.city.nagoya.jp）に掲載しております。

名古屋市観光客・宿泊客動向調査（平成 27 年度）概要版

1 調査の目的

名古屋市内の主要な観光施設等の入込状況及び宿泊施設の概要、宿泊客数の把握並びに名古屋市を訪れる観光客の目的や特性等を調査し、名古屋市の観光行政の基礎資料とすることを目的とする。

2 調査結果の概要

(1) 観光客の入込動向

【全国観光統計基準の採用】

名古屋市では、交流人口の核をなす観光入込客数の把握の精度を高め、観光施設の企画立案に必要な基礎データを整備するため、愛・地球博開催を契機に平成 17 年度より、全国観光統計基準に準拠し、行・祭事、イベント、スポーツ、音楽・演劇等の都市観光を中心とする新たな観光地点を調査に加えた。平成 27 年度については、全国観光統計基準に適合する 84 地点の観光入込客数を把握した。

【観光入込客延べ人数】

観光関連施設や行・祭事、イベント実施団体からの入込客数の回答により、観光入込客延べ人数を算出した。平成 27 年度の名古屋市内の観光入込客延べ人数は約 6,844 万人であり、平成 26 年度と比較して約 142 万人増加（対前年度比率 102.1%）した。

主な増加の要因としては、平成 26 年 9 月にリニューアル開館した「久屋大通庭園フラリエ」、イケメンゴリラの人気や飲食物販施設を新規開業した「東山動植物園」が人気を博したこと及びデータから理由は推察できないが「熱田神宮」の入込客数が増加したことなどが考えられる。

■ 観光地点の分類別入込客数の推移

（上段（ ）内：調査地点数、下段：入込客延べ人数）

全国観光統計基準に基づく分類		平成 24 年度	平成 25 年度	平成 26 年度	平成 27 年度
大分類	中分類				
学ぶ（見る・体験する）	自然				
	文化・歴史	(26) 21,478,478	(26) 22,625,801	(26) 22,361,685	(26) 23,556,367
	産業観光	(6) 2,199,456	(6) 2,155,078	(6) 2,175,112	(6) 2,274,288
遊ぶ（楽しむ・リフレッシュする）	スポーツ・レクリエーション施設	(16) 11,470,269	(16) 11,502,060	(16) 11,412,265	(16) 12,059,196
	温泉				
	買物				
触れ合う（交流する）	行・祭事	(16) 7,873,300	(17) 6,610,033	(16) 8,502,057	(16) 8,021,482
	イベント	(22) 11,492,527	(21) 22,268,244	(20) 22,564,723	(20) 22,525,264
計		(86) 54,514,030	(86) 65,161,216	(84) 67,015,842	(84) 68,436,597

注：調査した観光地点数は、年度によって変動する。

◆ 調査対象観光地点の選定について

名古屋市では、平成 8 年 3 月に社団法人日本観光協会（現 公益社団法人日本観光振興協会）が刊行した『全国観光客数統計～観光統計の調査・集計方法の全国統一～（全国観光統計基準の提案）』の基準を参考に、調査対象観光地点を選定している。

参考：調査対象施設の基準

- ・原則として、年間入込客数が 5 万人以上かつ、市外の観光入込客数が 2 割以上見込まれる市内観光地点を対象とした。
- ・新規開業施設については、初年度から年間 5 万人以上の入込客が見込まれる場合には、初年度から調査対象とした。

【観光入込客 実人数の推計】

観光客調査により平均訪問観光地点数を設定し、観光入込客実人数を算出した。平成 27 年度の観光入込客実人数は 4,331 万人であり、昨年度に比べ 366 万人増加した。

宿泊施設調査により、宿泊客実人数を推計し、観光客調査により、居住地割合を設定し、名古屋市内・市外別の宿泊客・日帰り客実人数を推計した。

■ 観光入込客実人数の推移

	平成 24 年度	平成 25 年度	平成 26 年度	平成 27 年度
観光入込客延べ人数（人）	54,514,030	65,161,216	67,015,842	68,436,597
平均訪問観光地点数	1.56	1.82	1.69	1.58
観光入込客実人数（万人）	3,494 万人	3,580 万人	3,965 万人	4,331 万人
宿泊客実人数（万人）	580 万人	598 万人	586 万人	653 万人
日帰り客実人数（万人）	2,914 万人	2,982 万人	3,379 万人	3,678 万人

■ 市内・市外別宿泊客数・日帰り客数の推計

	実人数計	居住地割合		観光入込客実人数	
		名古屋市内	名古屋市外	名古屋市内	名古屋市外
観光入込客	4,331 万人	34.2%	65.8%	1,481 万人	2,850 万人
宿泊客	653 万人	0.8%	99.2%	5 万人	648 万人
日帰り客	3,678 万人			1,476 万人	2,202 万人

【観光消費額の推計】

観光客調査により、観光入込客の名古屋市内での消費額を設定し、観光総消費額を推計した。平成 27 年度の名古屋市内の観光総消費額は、3,800 億円であり、昨年度に比べ 596 億円増加した。

■ 宿泊・日帰り別観光総消費額の推移

		平成 26 年度	平成 27 年度
宿泊客一人あたり消費額		26,422 円	26,353 円
日帰り客一人あたり消費額	名古屋市内	3,527 円	3,215 円
	名古屋市外	7,134 円	7,292 円
宿泊客総消費額		1,549 億円	1,720 億円
日帰り客総消費額	名古屋市内	739 億円	474 億円
	名古屋市外	916 億円	1,606 億円
名古屋市内観光総消費額		3,204 億円	3,800 億円

■ 観光消費額の推移

	平成 26 年度	平成 27 年度
食事費消費額	929 億円	1,096 億円
交通費消費額	453 億円	438 億円
土産費消費額	537 億円	900 億円
宿泊費消費額	512 億円	584 億円
入場料消費額	411 億円	363 億円
その他消費額	362 億円	419 億円
総消費額	3,204 億円	3,800 億円

■ 観光客一人あたりの平均消費額

	宿泊客	日帰り客	
		名古屋市内	名古屋市外
食事費	7,000 円	1,168 円	2,120 円
交通費	1,888 円	442 円	1,134 円
土産費	5,453 円	750 円	1,966 円
宿泊費	8,948 円		
入場料	1,330 円	405 円	983 円
その他	1,734 円	450 円	1,089 円
合 計	26,353 円	3,215 円	7,292 円

■ 主な旅行費用項目別消費額の推計

	宿泊客	日帰り客		合 計	平成 26 年度
		名古屋市内	名古屋市外		
食事費消費額	457 億円	172 億円	467 億円	1,096 億円	929 億円
交通費消費額	123 億円	65 億円	250 億円	438 億円	453 億円
土産費消費額	356 億円	111 億円	433 億円	900 億円	537 億円
宿泊費消費額	584 億円			584 億円	512 億円
入場料消費額	87 億円	60 億円	216 億円	363 億円	411 億円
その他消費額	113 億円	66 億円	240 億円	419 億円	362 億円
観光総消費額	1,720 億円	474 億円	1,606 億円	3,800 億円	3,204 億円

(2) 観光地点入込客の実態

名古屋城、東山動植物園をはじめとする 6 観光施設において、秋・春それぞれ平日・土曜・日曜の計 6 回、調査員が対面聞き取りにより調査した（合計 3,671 サンプル）。

■ 調査観光地点とサンプル数

	名古屋城	東山動植物園	熱田神宮	名古屋市科学館	名古屋港水族館	ノリタケの森	合 計
サンプル数	605	616	612	618	615	605	3,671

【観光地点別入込客の特性】

「名古屋城」において「東海地域以外」からの入込客の割合が多くなっている。一方「東山動植物園」においては、「名古屋市内」の割合が多くなっている。

また、「名古屋港水族館」においては若年層の割合が高く、「ノリタケの森」においては中高年齢層の割合が高く、「名古屋城」においては年代は比較的分散している。（本編参照）

■ 入込客の居住地構成

（単位：％）

東海						関東	近畿	北陸	甲信越	その他	合計
	名古屋市	屋敷を除く	愛知県（名古屋を除く）	静岡県	岐阜・三重・						
70.9	34.2	22.4	14.3	10.4	8.7	2.1	2.2	5.7	100.0		

【観光入込客の遊覧状況】

一人あたりの訪問施設数は 1.58 施設である。

全般に調査場所の近隣の観光施設にも立ち寄っているケースがみられる。

■ 主な観光施設入込客の遊覧状況

(単位：%)

訪問施設 観光地点	名古屋城	東山動植物園	熱田神宮	名古屋科学館	名古屋港水族館	ノリタケの森	徳川美術館	徳川園	名古屋テレビ塔	ミッドランドスクエア等	トヨタ産業技術記念館	リニア・鉄道館	その他	平均訪問施設数
名古屋城		3.0	10.7	3.3	1.5	4.8	4.8	6.1	5.0	1.5	3.5	1.2	18.8	1.64
東山動植物園	5.8		1.6	1.1	1.6	0.5	1.1	1.0	0.6	0.3	0.5	0.8	14.0	1.29
熱田神宮	17.8	0.7		2.6	2.3	3.1	4.4	2.1	6.2	3.3	1.6	1.3	23.0	1.69
名古屋科学館	7.9	1.9	2.3		3.1	0.6	2.4	1.8	0.6	2.4	1.3	2.1	21.5	1.48
名古屋港水族館	8.9	3.1	2.9	2.6		1.1	1.0	0.5	1.8	2.6	1.1	2.4	26.7	1.55
ノリタケの森	15.0	0.5	11.7	2.6	2.0		6.0	6.1	3.1	6.1	10.4	1.8	16.2	1.82

(複数回答)

【観光入込客の旅行費用】

今回の旅行費用の平均額は、交通費 1,056 円、土産代 2,284 円、食事代 2,812 円、入場料 860 円である。また、宿泊者の 1 泊の宿泊代は 8,948 円となっている。

■ 主な観光施設入込客の市内での消費額

	交通費	土産代	食事代	宿泊代	入場料	その他の費用
平均額 (円)	1,056	2,284	2,812	8,948	860	1,008

【名古屋の印象・旅行の満足度】

名古屋市外からの入込客の名古屋の印象・旅行の満足度としては、全体では「ほぼ満足」が 44.9%と最も多く、「大変満足」が 38.4%で合わせた 83.3%が満足と評価している。「普通」が 15.8%であり、「やや不満」はごく僅かで「不満」は皆無である。

■ 入込客の名古屋の印象・旅行の満足度

(単位：%)

印象・満足度 観光地点	大変満足	ほぼ満足	普通	やや不満	不満
名古屋城	47.6	43.0	8.7	0.7	0.0
東山動植物園	43.4	42.6	12.0	2.0	0.0
熱田神宮	36.8	35.9	26.8	0.5	0.0
名古屋科学館	40.0	45.9	13.4	0.7	0.0
名古屋港水族館	36.4	45.1	18.1	0.4	0.0
ノリタケの森	27.7	56.2	14.7	1.4	0.0
全 体	38.4	44.9	15.8	0.9	0.0

(3) 宿泊施設の状況

市内宿泊施設に調査票を配布し、施設の概要ならびに宿泊者数などを把握した。市内の総宿泊者数は、回答施設の実績から未回答分を推計し算出した。

【宿泊施設数】

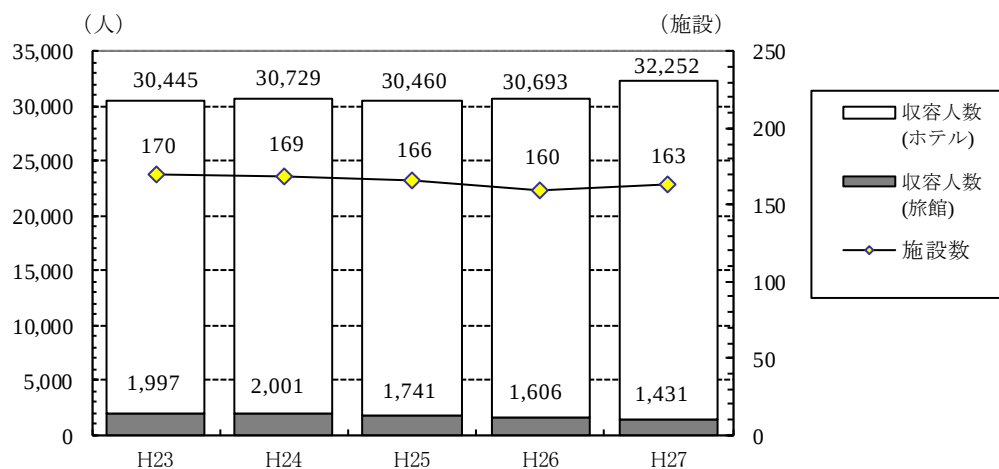
施設数では、登録ホテルが 15 施設、登録ホテルを除くホテルは 118 施設、旅館は 30 施設となっている。また、室数の合計は 22,700 室、収容人数の合計は 32,252 人で、昨年度より合計施設数では 3 施設、部屋数は 925 室、収容人数は 1,559 人の増加となった。

【年間宿泊者数】

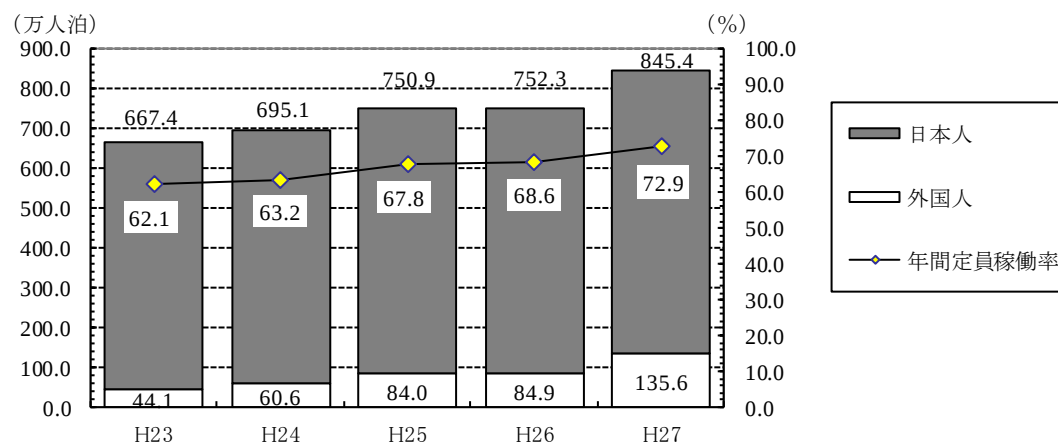
平成 27 年度の全施設の年間総延べ宿泊者数は約 845 万人泊であった。

また、全施設の年間総実人数は約 653 万人となっており、一人あたりの宿泊日数は約 1.3 日と推計される。

■ 市内宿泊施設収容人数及び施設数の推移



■ 施設延べ宿泊者数の推移



■ 推計年間宿泊者数及び年間定員稼働率の推移

年 度		平成 23 年度	平成 24 年度	平成 25 年度	平成 26 年度	平成 27 年度
区 分	推計総実人数 (人)	5,192,149	5,796,736	5,979,400	5,855,719	6,529,101
	うち外国人	271,884	482,571	570,030	556,595	1,019,011
推計総延べ宿泊者数 (人泊)		6,674,019	6,950,791	7,509,115	7,523,002	8,453,709
	うち外国人	441,255	606,148	839,550	849,079	1,355,694
年間定員稼働率 (%)		62.1	63.2	67.8	68.6	72.9

注：年間定員稼働率とは、定員に占める宿泊者数の割合を示す。客室稼働率とは異なる。
 年間定員稼働率＝年間延べ宿泊者数÷年間収容可能人数

【国別外国人宿泊者数】

国別に外国人宿泊者数の回答が得られた施設は 91 施設で、そのうち外国人の宿泊があった施設は 86 施設であり、その割合は 94.5%であった。なお、外国人の宿泊が無かったのは、旅館 5 施設であった。

国別の外国人宿泊者数をみると、「中国」が全体の 44.0%（313,701 人）と最も多く、施設分類別にみても、すべてのタイプの施設で中国の宿泊者が最も多くなっている。

■ 国別外国人宿泊者数

	登録ホテル (人)	ホ テ ル (人)	旅 館 (人)	全 体		平成26年度 割合 (%)
				人数 (人)	割合 (%)	
回答数 (施設)	11	68	12	91		
中国	75,252	238,234	215	313,701	44.0	26.9
台湾	33,785	90,024	26	123,835	17.4	19.4
香港	13,336	65,145	38	78,519	11.0	8.4
タイ	29,710	26,329	41	56,080	7.9	13.5
韓国	13,230	31,123	101	44,454	6.3	8.7
米国	13,935	12,074	11	26,020	3.7	8.7
シンガポール	6,007	6,762	7	12,776	1.8	2.3
ベトナム	5,018	6,722	14	11,754	1.6	1.7
マレーシア	2,828	5,632	7	8,467	1.2	1.7
オーストラリア	1,971	5,053	12	7,036	1.0	1.4
ドイツ	3,230	3,338	5	6,573	0.9	1.7
インドネシア	3,594	2,785	8	6,387	0.9	1.8
英国	2,112	3,438	6	5,556	0.8	1.2
フランス	1,980	2,714	44	4,738	0.7	1.0
その他	625	6,320	77	7,022	0.9	1.6
合 計	206,613	505,693	612	712,918	100	100

【修学旅行について】

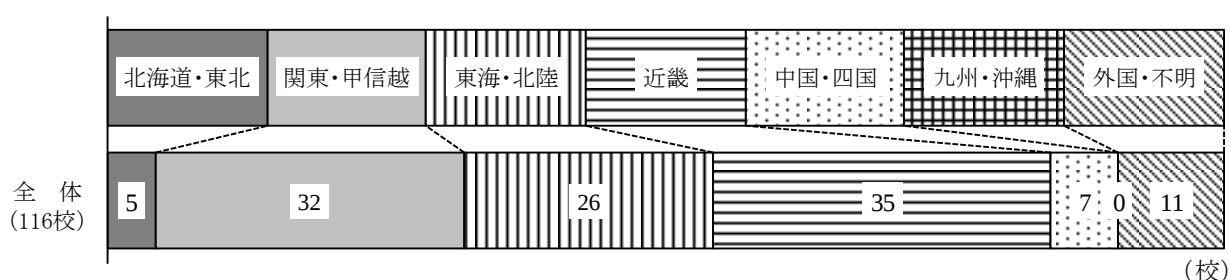
宿泊施設が受け入れた修学旅行については、学校数は 116 校、宿泊者数は 5,543 人であった。昨年度に比べ学校数は 34 校、宿泊者数は 1,559 人増加している。

学校分類別では「小学校」が 37 校、「中学校」が 28 校、「高校」が 27 校、「その他」が 24 校となっている。また、修学旅行を受け入れた宿泊施設は 12 施設であった。（本編参照）

■ 修学旅行団体の受入実績の推移

	平成 23 年度	平成 24 年度	平成 25 年度	平成 26 年度	平成 27 年度
学校数 (校)	95	77	55	82	116
宿泊者数 (人)	6,645	4,602	2,787	3,984	5,543

■ 地域別修学旅行団体受入状況



(4) 全国からみた名古屋の観光

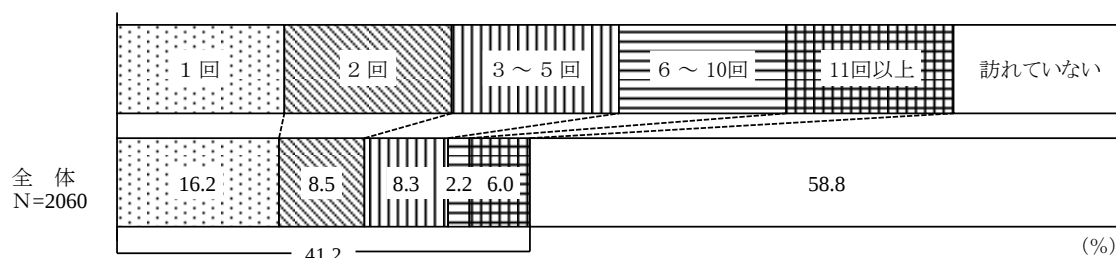
名古屋への訪問実績や訪問意向、観光に対する評価など名古屋の観光実態を把握するため、名古屋市を除く全国の18～79歳の男女個人を対象に、インターネットを用いて平成28年2月にアンケートを実施した（2,060サンプル）。

【過去5年間の訪問状況】

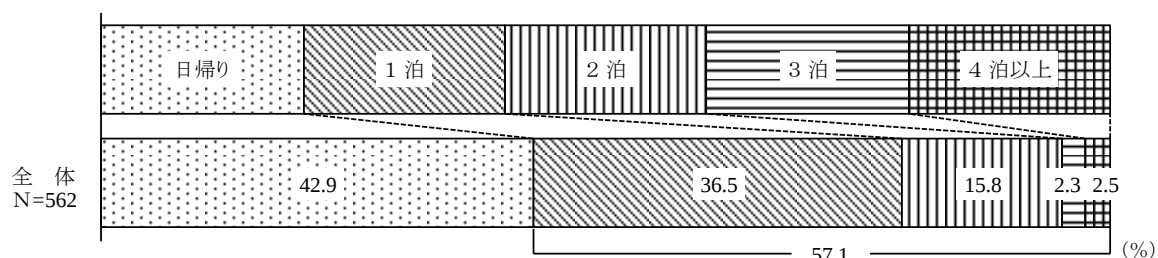
過去5年間の名古屋への訪問経験率は41.2%であり、その目的は、「観光施設の見学」、「友人・親戚への訪問」、「仕事」、「ショッピング」が多い。

観光等が目的で訪れた方の直近の訪問では、日程は「宿泊」が6割弱を占め、きっかけは「以前から訪れたいと思っていた」が5割と多い。

■ 過去5年間の名古屋への訪問回数



■ 名古屋への訪問日程



■ 名古屋への訪問のきっかけ

(単位：%)

	以前から訪れたい と思っていたから	知人に薦められた から・知人に案内 されたから	ガイドブ ックやパ ンフレッ トを見て	テレビ番 組等を見 て	ホームペ ージを見 て	団体の訪 問コース に組み込 まれてい たから	興味のある催事が 開催されて いたから	その他
全体 N=562	50.4	18.0	16.5	8.5	8.4	4.8	20.3	6.0

【観光資源について】

名古屋の主要な観光資源については、認知度、訪問・経験割合は「名古屋城」、訪問・経験意向は「なごやめし」がトップである。

■ 名古屋の主要観光資源について

(単位：％)

	名古屋城	徳川園	徳川美術館	熱田神宮	リニア・鉄道館	トヨタ産業技術記念館	ノリタケの森	名古屋科学館	名古屋市美術館	名古屋港	東山動植物園	栄	大須	なごやめし	その他	一つもなし
認知度	87.5	15.6	24.3	50.8	18.9	21.3	14.8	14.2	11.9	23.9	42.8	37.1	20.4	57.0	46.5	8.6
訪問者の訪問・経験	46.6	9.6	10.0	22.1	8.4	8.5	6.0	7.1	5.4	12.5	11.4	29.8	14.9	40.4	15.2	21.3
訪問・経験意向	46.4	19.3	24.8	27.6	24.1	18.2	15.9	13.4	13.6	18.1	23.7	17.3	11.9	47.5	53.0	7.4

【名古屋に対する評価】

名古屋を訪れた方の満足度は下記のようになっており、満足度が最も高いのは「なごやめしなどの食事」に対してで、次いで「観光施設」に対してであった。総合的な魅力の評価は「満足」「やや満足」が 57.3%、「不満」「やや不満」は 4.9%と訪問者は名古屋の観光に対して良好な評価をしている。

一方、名古屋に観光地としての魅力を感じない方は、「他の観光都市と比べて観光イメージが希薄であること」が最大の要因となっている。

■ 名古屋の観光に対する評価

(単位：％)

	観光施設	係員などの親切さ	市民の親切さ、親近感	おみやげ品	なごやめしなどの食事	案内表示等	総合的な魅力
満足 計	62.1	48.9	41.4	53.2	69.2	44.8	57.3
不満 計	3.2	3.9	6.0	5.5	5.1	8.9	4.9

■ 名古屋に観光地としての魅力を感じない理由

(単位：％)

	他の観光都市と比べて観光イメージが希薄であること	名古屋の魅力が全国的に十分知られていないこと	名古屋の魅力が市民に十分知られていないこと	魅力ある観光施設が少ないこと	魅力あるイベントが少ないこと	魅力あるおみやげ品が少ないこと	交通アクセスが良くないこと	夜に楽しめる場所が少ないこと（観光施設の閉館時間が早いことなど）	観光客と接する事業者などの観光に対する意識が低いこと	まちがきれいでないこと	まちに緑が少ないこと	その他
全体 N=248	59.3	14.1	3.2	38.7	8.9	10.5	5.2	3.2	8.5	4.4	6.0	10.9

【観光振興について】

平成 19 年 7 月から主要観光施設等を周遊する観光ルートバス「メーグル」の認知度は未だ 10.3%であるが、利用意向は 53.3%となっている。また「メーグル」を利用した方では 90.0%が満足と回答している。

名古屋城「本丸御殿」の復元や「玄関・表書院」の公開を知っていた方は 23.7%であり、「本丸御殿」が復元された場合の訪問意向は 81.0%となっている。

(5) 主要観光施設の入込客数

■ 主要観光施設別入込客数の推移

(単位：人)

施設 \ 年度	平成 23 年度	平成 24 年度	平成 25 年度	平成 26 年度	平成 27 年度
名古屋城	1,414,769	1,472,305	1,657,370	1,641,787	1,740,178
東山動植物園	2,025,336	2,079,896	2,228,650	2,271,248	2,583,986
東山スカイタワー	273,541	277,652	268,511	268,517	314,000
名古屋テレビ塔	201,868	251,384	242,286	269,852	325,462
熱田神宮	6,716,036	6,773,935	6,852,153	6,760,955	7,063,539
名古屋港	462,104	416,175	388,015	351,458	490,740
名古屋市科学館	1,531,854	1,303,372	1,436,926	1,394,003	1,382,275
徳川美術館	204,215	193,047	182,441	183,263	253,848
名古屋市博物館	400,384	410,718	456,102	426,518	437,550
東谷山フルーツパーク	513,454	538,245	469,843	520,078	483,182
農業文化園・戸田川緑地	1,116,600	1,281,235	1,188,451	1,135,295	1,119,575
でんきの科学館	336,167	301,239	292,131	293,669	313,455
名古屋市美術館	309,872	315,204	386,428	273,428	151,513
名古屋港水族館	1,785,853	1,990,050	2,040,420	1,967,223	2,051,785
トヨタ産業技術記念館	249,740	284,919	320,366	387,873	413,435
白鳥庭園	113,872	117,761	116,828	132,241	150,944
市政資料館	67,622	69,570	75,335	70,917	72,322
名古屋能楽堂	166,925	171,951	173,848	169,457	170,794
愛知県美術館	711,001	795,538	946,258	780,788	787,894
名古屋市農業センター	609,918	629,486	655,219	632,986	681,297
シートレインランド	604,748	619,387	629,048	598,734	634,647
有松・鳴海絞会館	159,824	170,035	168,531	177,381	177,335
久屋大通庭園フラリエ	129,967	134,638	124,485	353,531	621,847
名古屋ボストン美術館	101,878	319,008	165,634	183,281	142,590
ノリタケの森	341,939	356,529	336,994	352,890	357,730
ブルーボネット	65,831	70,780	64,089	51,019	53,211
徳川園	251,721	248,542	233,203	285,957	320,341
文化のみち二葉館	32,191	34,749	33,485	35,942	37,555
スカイプロムナード	107,124	103,014	102,863	96,359	99,395
リニア・鉄道館	1,057,424	679,272	592,191	530,982	546,491
合 計	22,063,778	22,409,636	22,828,104	22,597,632	23,978,916

＊１：名古屋港は、ポートビル展望室、名古屋海洋博物館、南極観測船ふじの入場者の合計数。

＊２：ランの館は平成 26 年 3 月に閉館し、久屋大通庭園フラリエとして平成 26 年 9 月に開館した。



名古屋市観光客・宿泊客動向調査

-概要版-

(平成27年度)

平成28年11月発行

発 行 名古屋市観光文化交流局

業務委託先 株式会社 綜研名古屋

この冊子は古紙パルプを含む再生紙を使用しています。